

関東高等学校卓球大会神奈川県予選会について

表題の件について下記の通り開催いたしますので、貴校代表選手の派遣方、よろしくお願い申し上げます。
なお、男子学校対抗と男女シングルス・ダブルスにつきましては推薦出場校・者・組及び地区予選会の代表が参加資格を有することとなります。

記

- 1 主 催 神奈川県高等学校体育連盟
- 2 主 管 神奈川県高等学校体育連盟卓球専門部
- 3 後 援 神奈川県教育委員会 (公財)神奈川県体育協会
- 4 種 目 男女学校対抗及び男女シングルス・ダブルス
<女子学校対抗は地区予選なしで直接県大会に出場>
- 5 県代表数 学校対抗 (以下T) 男女各4チーム
シングルス(以下S) 男子9名 女子8名
ダブルス (以下D) 男子5組 女子4組
- 6 適用ルール 日本卓球ルール
- 7 試合日程 4月29日(土) 9:00~ T4 宮前スポーツセンター(男)
30日(日) 9:00~ T4 横須賀市南体育館(女)
5月 3日(水) 9:00~ D4 横須賀アリーナ(男女)
4日(木) 9:00~ S4 小田原アリーナ(男女)
5日(金) 9:00~ SDリーグ 横須賀市南体育館(男女)
6日(土) 9:00~ Tリーグ 横須賀アリーナ(男女)
- 8 試合会場 宮前スポーツセンター：川崎市宮前区犬蔵1丁目10-3
横須賀アリーナ：横須賀市不入斗町1-2
横須賀市南体育館：横須賀市久里浜6-14-1
小田原アリーナ：小田原市中曽根263
- 9 試合方法
 - ・学校対抗(代表数4)
 - トーナメントでベスト4決定まで行い、1~4位決定と5~8位決定のリーグ戦を行う。上位4校が代表。
 - ・ダブルス(代表数 男子5組 女子4組)
 - トーナメントでベスト4決定を行い、1~4位決定と5~8位決定のリーグ戦を行う。男子は上位5組が代表、女子は上位4組が代表。
 - ・シングルス(代表数 男子9名 女子8名)
 - トーナメントでベスト4決定を行い、1~4位決定と5~8位決定のリーグ戦を行う。また男子は、ベスト8決定戦で負けた選手で順位決定のトーナメント1回戦を行い、その試合の勝者で9~12位決定のリーグ戦を敗者で13~16位決定のリーグ戦を行う。順位決定トーナメント1回戦において、組合せはベスト4決定のトーナメントに準じ、1回戦はベスト4決定トーナメントの日に行い、9~12位決定・13~16位決定のリーグ戦は1~4位決定・5~8位決定のリーグ戦の日に行う。男子は上位9名が代表、女子は上位8位が代表。
 - 学校対抗の試合方式は4~6人による4シングルス1ダブルス方式で
1:S 2:S 3:D 4:S 5:S の順で試合を行う。
1番と2番に出場する選手同士でダブルスを組むことはできない。
シングルスに出場できるのは1回のみ。
3人以下の選手では出場できません。

- 10 参加資格 県高体連加盟校登録かつ（公財）日本卓球協会登録選手
- 11 参加制限 学校対抗：各校男女1チーム＜男子は各地区予選通過校及び推薦出場校＞
（全、定、通の混成出場は認めない。）
シングルス：各地区予選通過者及び推薦出場資格者
ダブルス：各地区予選通過組及び推薦出場組、**推薦出場資格者同士の組**
- 12 年齢制限 4月1日現在で19才未満の者
- 13 推薦 前年度の県新人大会で、男子学校対抗ベスト8以上に入ったチーム、男女シングルスでベスト32以上に入った選手、男女ダブルスでベスト16以上に入った組については、それぞれの種目の県大会推薦出場資格を持つ。
- 中学3年生のときに全国中学卓球大会か関東中学卓球大会にシングルスで出場又は中学2年生のときに全日本カデットにシングルスで出場した新入生は、シングルの県大会推薦出場資格を持つ。
- 中学2年生のときに全日本カデットにダブルスで出場した新入生は、ダブルスの県大会推薦出場資格を持つ。
- 14 申し込み 各地区高体連卓球専門部より行う。
女子学校対抗は地区予選なしで直接県大会に出場出来ますが、出場するためには、地区予選申し込み時に申し込みが必要です。
個人情報の取り扱いについて
本大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。（詳しくは「神奈川県高等学校体育大会（主催・共催）における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」を参照ください。）
- 15 参加料 地区予選申し込み時に支払うこと。（地区予選要項参照）
- 16 注意事項 学校長に認められた引率責任者の引率がないと試合に参加できません。試合当日の開会式前に選手の出席確認と同時に引率責任者の出席確認も行います。
- 学校対抗のベンチに入れる監督（1名）は、日本卓球協会に役員で登録している該当校の職員・嘱託コーチに限り、個人戦アドバイザー（1名）は、日本卓球協会に登録している該当校の職員・嘱託コーチ・選手に限ります。
- リーグ戦以外では、タイムアウト制は採用しません。試合中選手にアドバイスが出来るのは、学校対抗・個人戦のリーグ戦でゲーム間に選手がベンチへ戻ってきたときのみで、学校対抗ではベンチ入りした監督・選手に、個人戦のリーグ戦ではアドバイザーのみ、その資格があります。（1分以内）
- ユニホームが同じ物でないと出場できない種目：学校対抗・ダブルス
JTAAの公認マークが付いている物で、主たる色がボールの色と明らかに異なる色のみ使用可
ショートパンツは地色が同系色まで可。
- 失格になる場合：遅刻（開会式で出席の最終確認をします。）、禁止されているラバー接着剤等の使用、ゼッケンを着用しないなど。
- 学校対抗の登録変更は、学校対抗初日の開会式前までに変更届を提出してください。申込書が変更届を兼ねていますので本部に申し出てください。
- 会場は駐車場が狭い所が多いので、応援者には車での来場を控えるように、各参加校で御連絡ください。
- 高体連の登録は4月下旬に各学校で、日本卓球協会への登録は各支部協会のメ切を守って行ってください。なお、この予選に参加した選手の登録は必ず行ってください。今年度の登録数が次年度の関東大会・全国大会の県代表数を決定する資料になります。
- 試合前の練習は、会場の台の準備がすべて終了してから譲り合って行ってください。
- 有機溶剤の入ったラバー接着剤・クリーナー等は使用してはいけません。
- ごみについては、各学校で必ず持ち帰り指導の徹底をお願いします。
- 引率する顧問の先生は必ず前記の大会規定及び顧問総会で配布した規定・注意事項を確認し、生徒に徹底してください。（不明な点は各地区の卓球専門部へお問い合わせください。）